

おんじゅく

4

昭和51年4月
第151号

千葉県御宿町役場



おなじゅくはしまり 春の深まりとともに 港
の活性化が進んでまいりました

定着した老人医療制度



ま
り
た
内
容

町の負担は月に二百余万円

老人医療費支給制度は、老人福祉法（三十八年七月）のなかで、規定され四十八年一月一日から実施されています。

この制度は、満七十歳以上の国民健康保険の加入者または被

用者保険の被扶養者（どんな保険でも対象となります）を対象としておりその人が医療保険で医療を受けた場合に、医療費の自己負担相当額を町が肩代わりするものです。

さらに四十八年十月一日からは満六十五歳から六十九歳までの国民年金に定める重度の障害を有する人、いわゆるねたきり老人などについても、老人医療費の支給対象に入っています。

■ねたきり老人も対象に

老人医療費の支給方法は、治療を受けた際に、保険医療機関に支払う自己負担額を町がかわって負担していますので、無料で治療が受けられる仕組みとなっていますが治療を受ける際、町が発行した

老人医療費受給者証と印鑑を持ち住民課へ申しでてください。

■高まる健康への関心

七十歳以上の老齢者は、町民全体の約一割を占め、年ごとふえています。こうしたことから、老人の健康に対する関心が高まっています。老人医療費が無料だからといふ考え方より健健全な老後を一日も長くという願望にほかならないと思います。

一方、老人の数が増えたということは、それだけ働く老人が増えてきたということになります。しかし当町の場合は、七十歳に達した老人すべてがこの制度の恩典を受けることができます。つまり国の中より内容が充実しており、それだけに町の負担する額が多くなります。こうした制度と町負担の推移をご理解いただき、老人医療制度の改善のためにご協力をねがいします。

なお町負担額は、一ヵ月平均一百二十四万三千円です。

50年度老人医療費の推移

	受診率	1件当たり町負担額	1人当たり町負担額
4月分	81%	3,296円	2,653円
5月	83	3,408	2,847
6月	86	3,194	2,751
7月	81	3,288	2,652
8月	86	3,288	2,828
9月	85	3,685	3,134
10月	91	3,553	3,236
11月	78	3,546	2,787
12月	99	3,479	3,456

一件当たり老人医療費(町負担額)

	入院	入院外	歯科
4月	23,918円	2,562円	1,471円
5月	26,720	2,644	2,864
6月	27,671	2,384	2,541
7月	23,292	2,753	2,100
8月	27,348	2,539	885
9月	23,664	2,796	2,492
10月	26,572	2,610	2,897
11月	26,772	2,653	1,871
12月	28,323	2,795	3,221

「老人医療費受給者証」を被保険者証といっしょに医療機関の窓口へ提出することが条件とされています。

■手続きは住民課へ

老人医療費受給者証を受けるには被保険者証と印鑑を持ち住民課へ申しでてください。

国の中には一定額以上の所得がある人は除かれます。しかし当町の場合は、七十歳に達した老人すべてがこの制度の恩典を受けることができます。つまり国の中より内容が充実してなるといえましょう。

機関の門をくぐるケースが多くなることになります。したがつて負傷もふえる、自らの体の調整にますます気をくばるという結果になり、老人が医療機関の門をくぐるケースが多くなるといえましょう。

つくる漁業へ夢託す

御宿漁業協同組合

漁礁投入、稚貝放流で成果

御宿漁業協同組合管理下にある磯根のもつ地理的条件——つまり海底が比較的平たんなうえ、魚のえさとなる海藻が少ない。したがつて魚、貝類、とりわけあわびの生そくが少ない傾向にありました。このため同漁協では、沿岸漁業の衰微から磯根漁業によるつくる漁業へ活路を求める必要に迫られていました。それは漁業経営の安定のためにも必要なことです。

沿岸漁業不振の打開策として始められたのが、漁礁の投入によるあわびの放流事業です。

三十八年にはじめて、並型漁礁（魚を住みつかせるもの）百一個を投入し、その成果をさぐった結果は良好、魚よりもむしろあわびの生そくが確認されました。こうして経験を生かして、四十三年から本格的な漁礁投入作戦を展開しました。この間、L型漁礁の有利性を発見し、五十年までの八年間に十四万五千個あまりの稚貝を購入

し、中間育成（イケスに放流し、四センチぐらいの大きさになるまで育成する）自然放流をしました。あわびの種苗は、奥尻、青森、千倉、鵜原から購入しました。

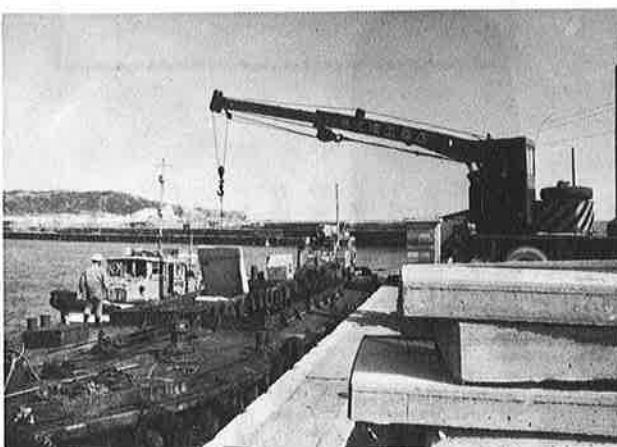
この事業の当初は、国の予算がついていましたが、国の施策の変更により中途から

県の単独事業に変わつて、この間に県でこの事業を打ち切るといふ話題もありましたが、近隣町村の漁業組合の強い要請により続けられることになりました。

一度に十数個ずつ海底へ沈めます

磯根資源をとりまく環境

当地域は、あわび、さざえ、いわえびなどの磯根資源に恵まれた



L型漁礁を船に積み込み海中への投入準備

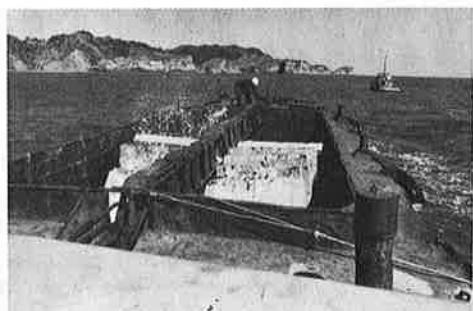
約百人いますが、みんな潜水日誌をつけていることになっています。漁獲した場所、日付けなど稚貝の成育状況や分布を知るうえからも貴重なデーターです。

コンクリートによる漁礁設置か所は十ヵ所をこえますが、採取できる成貝の体長は殻の長さ十二センチ以上ときめられています。こうしたルールはもとより放流するまでの種苗の管理育成、稚貝の放流選別など漁業青年部の研究グループは、交替で奉仕作業をつづけ、資源確保に努力しています。

今までの半分の事業量になってしまった。こうして磯根

全国でも有数の地域ですが、乱獲による枯渇しやすい資源のため、いろいろと制約を加えながら生産されました。中央市場価格の基準ともなる当地域のあわびだけに、生産量によって、市場価格が左右されるといつても過信ではありません。したがって、稚貝の放流と築礁を強力に推進し安定的な漁獲の得られる資源の確保がいつそう必要となつてくるわけです。

の環境の保全に努力し、稚貝の放流を続けた結果、徐々に資源が回復されました。復されてきました。



組合と海士の協力

資源育てる楽しさ知る

自分たちの手で育てたものが、二年後、三年後に大きく成長しうが味わえる快感でしょう。

「遠洋漁場が国際海洋法などで

狭ばめられる状況にある昨今、沿岸漁業で生きるより道のない当町の漁業経営者にとって、これから

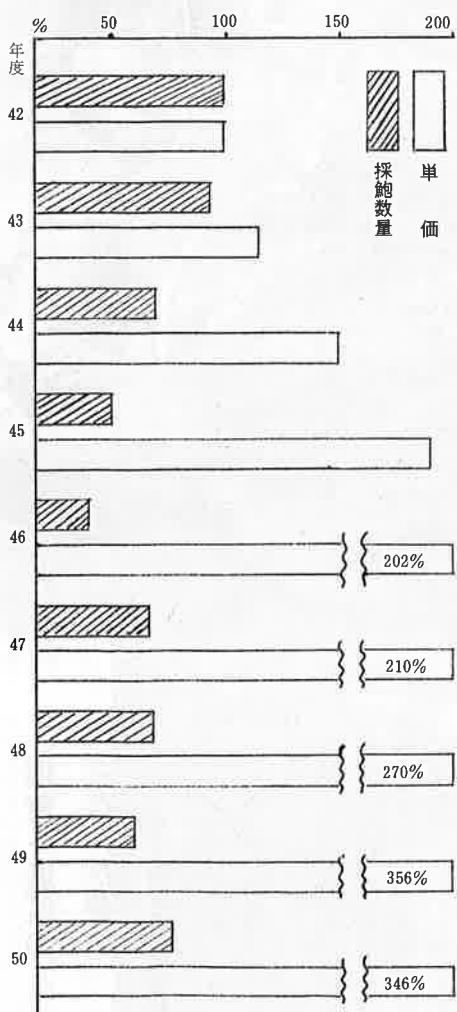
の漁業資源の育成強化は欠かせない施策です。同時に、これら資源の確保のためには漁民はもとより、町民が資源管理について認識を高めてほしい」と露崎組合長はいつています。

昭和42年以降の海士(女)の採鮑調査

さ ざ え 数 量 (kg)	平 均 操 業 日 数 (日)	同	同	あ わ び 数 量 (kg)	採 鮑 量 等
		単 価 (円)	金 額 (百万)	年 度	
1,430	—	942	14	15,200	42年
337	—	1,246	17	13,400	43年
639	40.3	1,430	16	11,100	44年
1,429	36.1	1,756	13	7,700	45年
849	26.9	1,899	10	5,400	46年
853	34.2	1,977	20	10,000	47年
489	32.5	2,544	28	10,900	48年
1,740	33.1	3,360	37	11,000	49年
1,976	30.0	3,257	38	11,500	50年

- 42年度までは漁獲が上昇していた
 - 45年度から稚貝放流および魚礁投入を行う
 - 48年度から放流稚貝(千倉産)の成貝水揚げされた

数量・単価の累年比較



御宿漁協磯根回



町政のポイント

岩和田漁港修築事業

四十八年度からはじめられた漁港整備五ヵ年計画の四年目に入りますが、ことしは、総事業費一億百八十二万五千円をかけて防波堤消波工々事が行われます。

つてきたために出漁、水揚げ、荷さばきなどに支障を生じてきました。

この修築事業が五十二年度に完成しますと、さきの不便が一挙に解消され、操業率の向上、荷さばきの簡素化など漁民所得の安定に寄与するものと期待されます。



自転車で通学する生徒の事故防止を目的に県自転車、軽自動車商組合加入の地元業者五店が、春の交通安全運動中の四月十日、御宿

中学校生徒の通学用自転車を点検しました。

この点検は、年に二度行われますが交通安全運動期間中の点検と

通学用自転車を点検

事故防止へ 業者がサービス

あつて業者の点検は慎重。

点検は、車体、ブレーキ、ブザ
ー、反射器、タイヤ、チエーン、
ライトなど十項目をチェック、整
備不良か所を点検カードに記入し

次々に手直しが加えられました。

同中学生が通学用に使っている

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|
| 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 十 | 七 | 七 | 七 | 七 | 十四台 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

自転車は約二百七十台。
整備不良として、チェックされ
たのは、いずれも一、三年生の自
転車。それもそのはず一年生（新
入生）の自転車はみんな新品ばかり。

点検の結果、整備不良の多かつ
たところはつぎのとおり。

- | | | |
|---|--------|------|
| 1 | ライト | 三十四台 |
| 2 | じょう前 | 十 |
| 3 | ブレーキ | 七 |
| 4 | ベル | 七 |
| 5 | 後部反射鏡 | 七 |
| 6 | 車体曲 | 六 |
| 7 | ペタル | 五 |
| 8 | チエーン不良 | 四 |



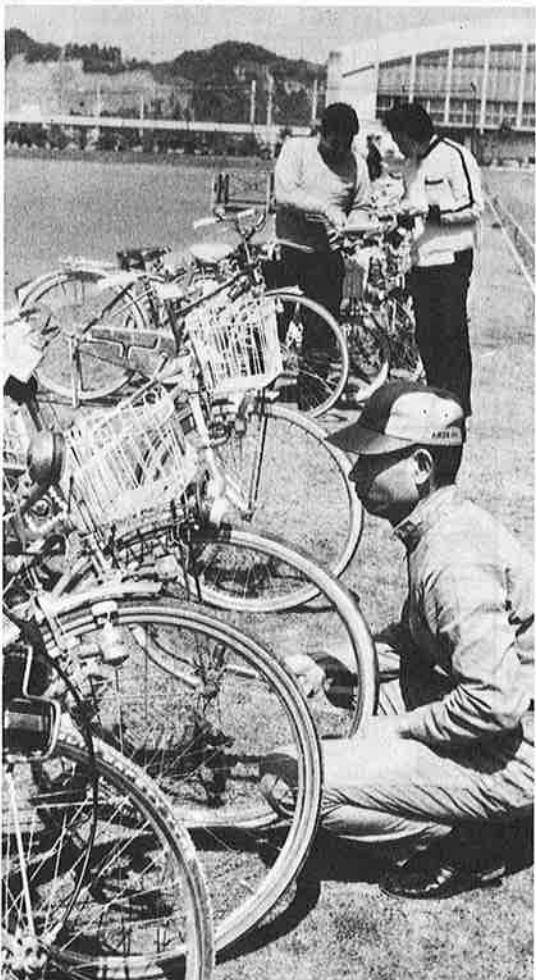
こい5,000尾放流

釣りてんぐに朗報

観光客や町内の釣りてんぐたちに、こい釣りを楽しんでもらおうと、観光課では、4月6日、体長5センチから20センチの真ごいおよそ5,000尾をセキや川に放流しました。

このこいは、6万円で夷隅町の養鯉場から買ったものです。

写真はコイを放流する町職員



台数は二百六十三台。
良好車三百六台

不良車五十七台

外房沿岸の町村を対象に三月十二日二回目の津波避難訓練が行われました。当町では、今回の訓練に、須賀浜の約三百人が参加しました。津波発生広報にいち早く避難を開始し、交通規制のしかれた国道を横断し、避難場所の須賀平沿洞門の広場へ整然と避難民が集まりました。

須賀・浜区の

二回目の津波避難訓練

おかあさんもう心配いりません
よ。お子さんは、すっかり学校に
なれお友だちもたくさんできて、

毎日楽しく勉強にはげんでいます。
△△
ちつちつな、かわいい保育園児

保母さんになつたり、新しい
園の生活が楽しくて仕方がないよ
うです。

ことしも二十五人の園児が三月
二十四日、通いなれた保育園を巢
立つていきました。一人、一人は

つきりとした大きな声で返事をし
胸をはって、園長から卒園証書をし
うけとりました。

“おかあさんもう安心です”

学校も保育園もなれました

も、だいぶ保育園の生活になれた
ようす。



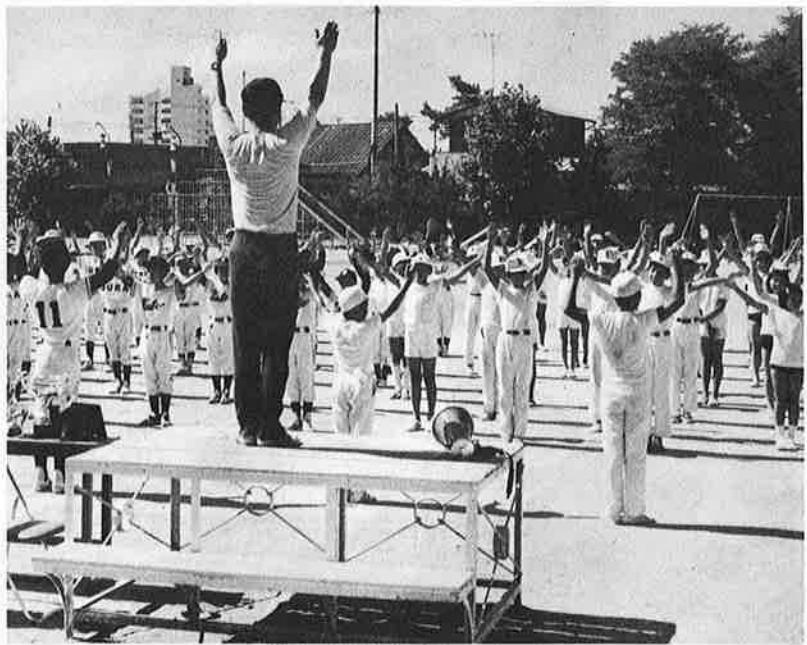
卒園証書をうけとる園児



卒園、おめでとう

みんな“いい子になつてね”

すくすく育つ浜とび魚子供会



なわとび大会が始まるのだ。

一年生から順にいよいよはじまつた。まつ赤な顔でいつしうけんめいやつている。小さなかわいいにぎりこぶしで、なわをじようずに回転させ、小さな体がピヨンピヨンはずむ。なかにはピヨコピヨコとよろけて、リズムがくるう子もいる。それを見ていると、どうしてもかわいらしくなつて、思わずふき出してしまつた。

いよいよ私の番だ。「ようしやるぞ」はりきってなわをにぎる。

気持ちよいきんちょうのしゅん間だ。あせをかき、いつしょうけんめいにやつた。「負けないぞ」と気持ちまだがんばるが、足がいうことをきかない。その結果はビリ。

あなたがつたちはいりたいような気持ちだった。

でも「力いっぱいやつたんだ」というさわやかさはあつた。一等だからだ。天気もよし、気持ちよし、心が大きくなづんでいた。

二等、三等の人たちは、たくさんの賞品の山のなかへ消えていった。今度こそと思いつらには、力いっぱいくつてやろう

空にひびいた。とび魚子ども会員

が全員参加し、みんなのとくいな

心が大きな力をわかしてくれたのだろう。今度は私がむねをはつて賞品の山の中へはいつていった。

こんなに楽しい行事を計画し、

たくさん賞品を用意してくれたのも、役員のおばさんたちが、私たちに元気に、明るく育つてほしいというあたたかい心からだと思つた。とてもありがたいと思つた。

四月から私も、五年生なので子ども会の一員として、しっかりとやらなければならぬ。今の役員の人たちに負けないようがんばりたいと思う。そして、浜のとびうお子ども会をもつともつと、楽しくよい会にしていきたい。

夜、キヤンプファイヤーをやつた。火がぼうぼうともえていた。ダンスをしたり、げきをしたりしてとつても楽しめた。こんな楽しい火をかこんで、ぼくたちの心は、みんな一つにまとまり明るくなつた。またいきたいと思う。それでもつともつと子供会を大切にしたい、そのためにはぼくたちはもつともつとがんばりたいと思う。

キヤンプで 心が一つに

式田由浩

子どもの自 主性伸ばす

「やつたぞ」と朝早く飛び起きた。きょうは、うれしいキヤンプ

だからだ。天気もよし、気持ちよし、心が大きくなづんでいた。おかあさん自転車に乗せてもらつて、バスがつくすずき工業までいった。口ぶえが自然にでてくる楽しさだ。

バスがきた。バスに乗つて「や

ツホー」とさけんだ。どの顔もみんなはちきれそうでバスのなかはとてもぎやかだつた。みんな声を合せて歌を歌つた。

やつと目つき地についた。その家の名は「つるまい青年の家」だ

ぼくたちの部屋は二階のはじからはじまでだ。とてもながめがいいだからとつても気にいつてしまつた。

楽しかつた なわとび大会

永島玲奈

「みんながのないように、はり

子ども会の会長の声が、晴れた

空にひびいた。とび魚子ども会員

が全員参加し、みんなのとくいな

なわとび大会が始まるのだ。

あなたがつたちはいりたいような気持ちだった。

でも「力いっぱいやつたんだ」というさわやかさはあつた。一等だからだ。天気もよし、気持ちよし、心が大きくなづんでいた。

二等、三等の人たちは、たくさんのおかあさん自転車に乗せてもらつて、バスがつくすずき工業までいった。口ぶえが自然にでてくる楽しさだ。

バスがきた。バスに乗つて「や

「子どもたちの自主性を重んじ会のバックアップをしていきたいと思います」浜とび魚子ども会育成会の人たちは、みんなこう話しています。

会の組織を充実し、活動を活発

にしようと、子どもたちのよい相

談相手となるよう、会合を重ね
協議しています。

育成会の活動のおもな点は、

- たくさんの人が会へ参加でき
る
- 子ども会の全面協力ができる
よう、育成会を七つのブロック
にわけ研究しあっていく

このようなことに重点をおき、
会の活動を拡大していく。大いに

52年秋ごろには給水

ピッチあがる水道工事



上水道の配水管埋設工事が町の
あちこちで、ピッチをあげ進めら
れています。

五十年度事業として進められて
いるこの管の埋設は、総延長一万
六千四百九十九メートル。四月中に
は、この工事量を消化できる見通
しです。

新年度（五十一年度）からは、
新たに国、県道にも管の埋設が手
がけられすべての計画給水区域に
配水管が張りめぐらされることに
なります。そして順調にいけば五
十二年秋、給水の体制が整うこと
になります。

実績をあげ、活動の裏付けとなる
町の援助を多くしていただけるよ
う働きかけていきたいとはりきつ
ています。

つています。

工事費のお支払い方法

四月 二万円
六月 ヶ

八月 二万円
十月 ヶ
十二月 ヶ
二月 ヶ

三月 残額精算
なお、上水道工事によるお問い合わせなどは、電話四三三九へどうぞ。

やさしい税コーナー



◇自動車税の納期は五月です

自動車税の納税通知書は、千

葉県自動車税事務所から五月初

旬に納税者へ送られますから、

五月三十一日までに納めてくだ

さい。この日までに納めません

と延滞金がかかります。

自動車税を納めるときは、最

寄りの各金融機関をご利用くだ

さい。

◆固定資産税など改正

昭和五十一年度の地方税法の
改正によって、町民のみなさん

に關係の深いつきのことがらが

改められました。

◆個人の住民税 均等割（円）

現行 二〇〇 一〇〇

区分	現行	改正
50 cc 以下	500円	650円
90 タ	800	1,000
125 タ	1,000	1,300
農耕用	1,000	1,300
軽二輪	1,500	2,000
軽三輪	2,000	2,600
軽四	自家	2,500
貨物	営業	2,500
軽四	自家	4,500
乗用	営業	4,500
小型二輪	2,500	3,300
その他	3,000	3,900
51年適合車（低公害）	4,500	4,500

改正 七〇〇～三〇〇
◆法人の均等割（円）

資本金千
万円以上 資本金千
万円以下

現行 四〇〇〇 二四〇〇
改正 一二〇〇～七二〇〇

◆固定資産税 今年の固定資産

税第一期分の納期は五月三十一

日に改められました。（今年に
限り）

△宅地、小規模住宅用地は、一
・三倍

△一般宅地、小規模住宅用地、

◆国民健康保険税の最高課税限
度額が十二万円から十五万円に
引き上げられました。

法人宅地などは、一・一倍

△農地については平均一・二倍

△山林、原野は一・一倍

△家屋、新增築家屋については

木造一・五倍

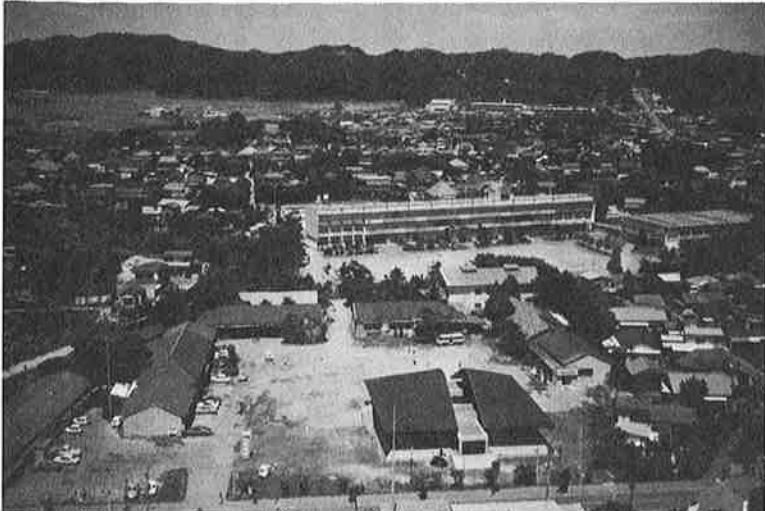
非木造（鉄筋、鉄骨コンクリ
ート造）一・四倍

造、工場、倉庫一・三倍

以上いずれも五十年度評価額

に対しても上昇率です。

行政の中心、役場全景



役場の人事や区役員、消防団など四月人事の異動があり、四月一日から別表のように各役職が変わりました。なお、四月の新規採用の町職員は三人（うち保育所二人）で、いずれも欠員の補充にとどまりました。

助役、収入役は三月三十一日でそれぞ
れ任期満了となりま
したが三月臨時議会
で両氏とも再任の同
意が得られました。

助役、収入役は再任

職員事務分掌表																
課(室)名		職名		事務分掌				課(室)名		職名		事務分掌				
住 民 課	主	事	氏	中	戸籍	住民登録	外人登録	配給	總務課	長	藏	務全般	財政	広報	務全般	
	主	事	主	田	と	年金	国民年金	給付	課係	事長	長	長	財政	会議	統計	教育
	主	事	主	井	秀	告知放送	国民健康保険	じん芥処理場(じん芥処理)	任主	事長	事長	事長	議會事務局	選舉	庶務	給与(財)
	主	事	主	上	野	野	井	浜酒	主	事	事長	事長	企画	財産管理	登記事務	「」
	運	転	任	野	八	妙	井	宇田川	任	事	事長	事長	町長室付(庶務)	文書		
	清	掃	手	渡	妙	栄	川	渡未	主	事	事長	事長	税務全般	固定資産税	土地保有税	「」
	清	掃	員	未	純	良	田	神吉	主	事	事長	事長	特別徵収	町県民税	保険税	
	清	掃	員	定	高	良	山	哲政	係	事	事長	事長	法人税	町県民税	軽自動車税	諸証明
	清	掃	員	野	渡	夫	市	君	主	事	事長	事長	町税関係	自動車運転管理	自動車運転管理	「」
	清	掃	員	塚	吉	栄	山	哲政	主	事	事長	事長				
振興課	課	長	池	田	覚	道	雄	御宿町開発受託事業全般	主	事	長	事長	總務全般	財政	広報	務全般
	主	補	岩	瀬	春	春	男	（開発協会）	主	事	事長	事長	議會事務局	選舉	庶務	給与(財)
水道準備室	室	長	岩	瀬	剛	和	義	水道事業全般	係	手	長	藏	務全般	固定資産税	土地保有税	「」
	室	長	新	井	夫	亘	昭	（開発協会）	主	電	長	長	特別徵収	町県民税	保険税	
	室	長	吉	野	亘	丈	晴	（開発協会）	主	用	事長	事長	法人税	町県民税	軽自動車税	諸証明
	室	長	鷹	中	嵐	昭	子	（開発協会）	主	工	事長	事長	町税関係	自動車運転管理	自動車運転管理	「」
	室	長	五	嵐	井	義	子	（開発協会）	主	務	事長	事長				
	室	長	石	井	藤	高	子	（開発協会）	主	員	事長	事長	總務全般	財政	広報	務全般
	室	長	佐	藤	昭	政	子	（開発協会）	主	員	事長	事長	議會事務局	選舉	庶務	給与(財)
	室	長	佐	藤	昭	晴	子	（開発協会）	主	員	事長	事長	法人税	町県民税	軽自動車税	諸証明
	室	長	佐	藤	昭	子	（開発協会）	主	員	事長	事長	町税関係	自動車運転管理	自動車運転管理	「」	
	室	長	佐	藤	昭	子	（開発協会）	主	員	事長	事長					
社会福社協議会	事務	局長	河	崎	泰	俊			室	長	正	子	出納	（物品会計）		
	事務	局長	河	崎	泰	俊			室	長	祐	二	正	子	（物品会計）	
御保育宿所	園	長	萬	梨	美	佐	子		室	長	吉	田	出納			
	園	長	木	木	孝	佐	子		室	長	岩	瀬	（物品会計）			
	園	長	渡	津	と	り	子		室	長	鈴	木				
	園	長	岩	渡	み	き	子		室	長	祐	庸				
	園	長	久	瀬	み	き	子		室	長	吉	正				
	園	長	神	我	よ	め	子		室	長	田	田				
	園	長	佐	定	啓	よ	子		室	長	瀬	瀬				
	園	長	森	間	よ	桂	子		室	長	鈴	鈴				
	園	長	森	喜	よ	桂	子		室	長	祐	祐				
	園	長	上	京	喜	代	美		室	長	吉	吉				
岩保和田所	園	長	正	本	和	子	子		課	長	高	橋	商工観光	農林水產全般		
	園	長	領	島	正	裕	子		課	事	閑	邦	農委會事務局長	農業水產		
	園	長	松	本	正	裕	子		課	補	小	夫	商工観光			
	園	長	屋	代	裕	裕	子		課	事	君	昭	農業技術指導	農業水產		
	園	長	高	梨	裕	裕	子		課	事	淹	忠	林業畜產	農業委員會		
岩保和田所	調	理	母	木	和	裕	子		課	事	鶴	和	夫	商工観光	農業水產	
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	鶴	隆	農業技術指導	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	鶴	廣	林業畜產	農業委員會		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	鶴	隆	農業委員會	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	鶴	廣	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	園	長	母	木	和	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	調	理	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	園	長	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	調	理	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	園	長	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	調	理	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	園	長	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	調	理	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	園	長	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	調	理	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	園	長	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	園	長	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所	調	理	母	木	正	裕	子		課	長	吉	吉	商工観光	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業技術指導	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	林業畜產	農業委員會		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
	調	理	母	木	正	裕	子		課	事	吉	吉	農業委員會	農業水產		
岩保和田所																

各区役員名簿

(51年4月1日現在)

土木委員会	浜松	孝祐	浜358	3 8 4 1
	米井	良俊	浜299	2 7 2 0
	高山田	久喜	高山田824	4 0 8 0
	中伊井	保喜	高山田1549	8 5 3 2
	上藤	長一郎	久保2001	3 2 7 9
	上山	久喜	久保2129	3 2 8 0
	橋	二郎	新町815	2 6 2 7
	高橋	善	新町467	2 3 9 7
	神定	一司	六軒町486	3 7 7 7
	幸岡	常次	六軒町486	3 7 5 0
衛生委員会	岩和田	鶴渡	岩和田985	2 7 6 0
	実谷	吉吉	岩和田1014	2 9 8 0
	野石	康茂	七本12	8 2 9 2
	吉吉	石数	実谷568	8 2 3 2
	上布施	吉吉	上布施1909	8 4 1 7
衛生委員会	須賀	鶴井	上布施3639	8 4 9 3
	浜井	太吉	須賀577	3 3 5 7
	高山田	雄栄	浜2164	2 0 2 1
	久保	駒	高山田802	8 6 0 2
	新町	竹	久保1391	2 6 5 2
衛生委員会	六軒町	幸太郎	新町475	2 1 2 6
	岩和田	栄次郎	六軒町355	2 1 3 0
	実谷	一昇	岩和田823	2 9 8 2
	新井	三昇	実谷989	8 2 7 1
	上布施	昇	上布施2756	8 1 6 8

職名	区名	氏名	番地	TEL
区長	須賀	岡広	須賀503	2 9 9 9
	浜星	美喜夫	浜436	2 1 4 7
	島島	昭	高山田801	8 6 0 7
	久保	尚雄	久保2143	3 2 8 2
	新町	田岩	久保2214	2 2 2 4
	六軒町	利雄	六軒町486	2 7 1 1
	岩和田	忠雄	岩和田908	4 3 9 2
	実谷	雄	実谷1411	2 7 4 8
	上布施	一雪	上布施3537	8 5 1 7
	須賀	土喜代	須賀581	2 3 5 2
区長代理	浜吉	一治	浜347	2 2 5 5
	高山田	喜幸雄	高山田1044	8 5 7 2
	久保	和之藏	久保2158	2 4 6 2
	新町	松藏	新町674	3 6 7 3
	六軒町	鶴巣一郎	六軒町436	2 2 0 2
	岩和田	大吉	岩和田924	3 7 9 8
	実谷	白城	実谷25	8 1 5 6
	上布施	鳥上	上布施1411	2 7 4 8
	須賀	井定	須賀662	3 5 9 6
	須賀	女神	須賀525	2 2 2 2
土木委員会	須賀	井定	須賀662	3 5 9 6

御宿町消防団各分団役員

分団名	分団長	TEL	副分団長	TEL	部長	TEL
第1分団	鶴岡恒二	3804	白島方亮	3820	井上千之	3278
第2分団	秋場一哲	2157	齊藤広恵	2309	本田由吉	2491
第3分団	花崎実	2626	小松政俊	3380	石井勝	3791
第4分団	井上巖	2226	神定敏夫	3025	堺泰三	2620
第6分団	井上巖	8536	井上芳男	8574	鈴木正男	2969
第7分団	竹原光男	2349	松下守雄	3211	高野孝一	2215
第8分団	君塚美喜夫	8267	吉田幸代	8312	吉野長生	8222
第10分団	井上操	8422	酒井文男	8491	永石伸一	2855
ラッパ隊	鶴岡一成	浜522			増田益雄	3738
総務課消防係					千之	3036

御宿町消防団本部役員・分団長

職名	氏名	住所	TEL
団長副団長	佐甲	久保2195	2051
	秀	須賀526	3365
	純	久保2028	2451
	観	上布施1411	2748
	一雄	新町272	2251
	次	岩和田1014	2980
	利	新町459	2717
	誠	七本61	8314
	正	上布施3565	8511
	二男	上布施2189	8331
本部指導部長	佐佐	不二理	
	佐佐	管理	
救護部長	林岡村	久保2195	2051
	上木	須賀526	3365
団長副団長	佐甲	久保2028	2451
	秀	上布施1411	2748
本部指導部長	佐々木	新町272	2251
	井鈴渡	岩和田1014	2980
本部指導部長	佐々木	新町459	2717
	信利誠	七本61	8314
本部指導部長	佐々木	上布施3565	8511
	佐々木	上布施2189	8331

新しい選管委員など決る

3月いっぱいに任期切れとなる選管委員と同補充員の選挙は3月4日、24日の議会で行われ、次の人たちが選ばれました。

●選管委員会委員

住所	氏名	生年月日
上布施1905	吉野哲朗	明治40年9月10日
新町674	滝口松藏	明治44年10月10日
久保2124	市原義夫	大正8年11月6日
高山田1065	鈴木忠男	大正2年1月29日

●選管委員会補充員

住所	氏名	生年月日
岩和田908	熊井忠雄	大正7年1月1日
久保1950	岩瀬啓	大正7年8月30日
須賀319	佐藤浩	大正3年3月29日
七本321	吉野正義	大正4年1月8日

選管委員会委員と補充員の選挙

人格が高潔で、政治および選挙に関し、公正な識見を有するものうちから、議会において選挙することになっています。

委員の選任については、本人の承諾を必要とします。また委員と同数の補充員を選挙します。

学校関係

学校名	校長	教頭
御宿中学校	遠山農夫雄	露崎與孝
小学校	塩田真澄	幸本利男
岩和田小学校	君塚洋一	中村満
布施小学校	江沢実	大曾根理義
御宿家政高校	森勇一	八木繁



桜のつぎに柳を寄付 『町を美しく』と八坂会



美しい町づくりに少しでも協力したいという気持から八坂会のメンバー（田中岩雄、渡辺嘉重、石井実、鶴岡秀雄、神定与一のみなさん）は、柳の苗木五十本を町に贈つてくれました。

この会では、四十八年にも桜の苗木をたくさん町に贈つており、町の観光課では、さっそく清水川のほとりに植えました。

今回もこの美しい好意となつたのです。



海岸への入口道路の両側に植えられた柳



受賞おめでとう

御宿町青少年健全育成推進ボスターに応募し、入選した人たち

区分	手数料額
戸籍の謄・抄本	1通 200円
除籍の謄・抄本	1通 300円
戸籍の記載事項証明	証明事項1件 100円
除籍の記載事項証明	証明事項1件 200円
受理証明書	1通 100円
上質紙使用の婚姻届等の受理証明書	1通 800円
戸籍簿の閲覧	1戸籍 100円
除籍簿の閲覧	1戸籍 200円
届書類の閲覧	書類1件 100円

このほど、戸籍手数料令が改められ五月一日から戸籍の謄・抄本の手数料は、枚数に関係なく、一通につき二百円になります。改正されるおもな手数料は表のとおりです。

戸籍の謄・抄本などを郵便で請求されるときは、必ず現金書留か郵便局の定額小為替で手数料を納めます。

なお、郵便切手で手数料を納めることはできないことになっていますので、よろしくご協力ください。

戸籍手数料 一通一百円に

吉田玲奈（四年） 御宿小
吉野敏明（五年） ハ
吉田和功（六年） 岩和田小
大野吉弘（六年） ハ
永石知重（二年） 布施小

吉田とし江（六年） ハ
松岡美枝子（三年） 家政高
以上の人たちは現在はそれぞれ進級をしたり、卒業した人です。

手をあげて渡るよい子に笑顔で止まれ

慶
乃

◇出生おめでとう◇

三月 男5 女4 計9

区名 出生児 性別 保護者

須賀 岩野 忍 男 行
渡邊謙一 男 明久
吉田和弘 男 武男

浜 新町 村山浩代 女 勝利
斎藤竜彦 男 弥四郎

岩和田 山崎 勉 男 隆司

浜 寒谷 君塚四郎吉 女 博

岩和田 岩野ウメ 佐藤いね 小松忠治郎

浜 白鳥幸枝 女 洋 義勝

浜 宮谷 君塚四郎吉 佐藤いね

浜 小松忠治郎 岩野ウメ

浜 君塚四郎吉 佐藤いね

人口（11月末現在）

前月との比較

世帯数	計	男	女
計	三九三〇	△六	△六
男	四四九〇	△五	△五
女	八四三〇	△三一	△三一
世帯数	二二六七	△一	△一